



荏田米うさぎ  
50周年キャラクター

1月号 令和6年1月12日発行

# 荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel.911-0149]  
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



## 自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動する力 ～自己決定ができる自主・自律の学校でありたい～

校長 伊藤 智樹

今年は元旦に能登半島地震、翌日には羽田空港で飛行機の接触炎上と言う信じがたい事故が起きました。地震と事故双方ともニュースで映像が流れ、正月の雰囲気が一変しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

荏田小に着任して5年の間、社会科の授業を3年生以上の学年で行ってきました。私の授業観は事象を通して背景にある「人の営みや知恵、目には見えない人の心に思いを寄せること」です。このためには「自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動する力」がとても重要になります。

だいぶ前になりますが、日本財団が定期的実施している「18歳意識調査：国や社会に対する意識6か国比較（2022年実施）」という下記のような新聞記事を目にしたことがあります。

【国や社会に対する意識調査(6か国)】		※表の各項目の数値は「はい」の人の割合(単位は%)					
	自分は大人だと思う	自分は責任ある社会の一員だと思う	自分の行動で国や社会を変えられると思う	国や社会に役立つ事をしたいと思う	慈善活動のために寄附をしたい	ボランティア活動に参加したい	
日本	27.3 6位	48.4 6位	26.9 6位	61.7 6位	36.2 6位	49.7 6位	
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4	
イギリス	85.9	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2	
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3	
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7	
インド	83.7	82.8	78.9	92.6	83.7	78.1	

国民性や各国の経済成長、政治状況にも関係するかと思いますが、日本の若者で「自分を大人だと思う」と答えた人はわずか3割弱。中国の約7割、欧米の約8割強と比べると半分も満たしていません。「自分で国や社会を変えられると思う」と答えた若者は26.9%ですべての設問に対して日本の若者だけ突出して低い結果となっています。コロナ禍前の2019年にも同様な調査をおこなっていますが同じ傾向でした。



「令和の日本型学校教育」が令和3年1月に中教審から出されました。キーワードは「個別最適な学び」と「協働的な学び」です。これは子どもが学習に取り組んでいる姿を表しています。裏返せば私たち教職員は子どもたち一人ひとりの状況に応じてアドバイスをしたり、教材提示をしたりすることを通して子どもにあった学習ができるようにする必要があります。「こうすれば解決できるんだな」という「自己決定」を子どもたちが実感する必要があります。また、「個別最適な学び」が「孤立した学び」にならないように子ども同士、あるいは多様な他者との「協働的な学び」が必要となります。

日本の学校は、改善はされているとはいえ、一斉教授型の授業が多いのが現状かと思えます。学習を「自分事・主体的」にすることが重要です。自分事・主体的を「自己決定」と言い換えてもいいと思います。一斉教授型の授業ではそもそも自己決定できません。見出しの「自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動する力」は予測困難な時代を生きる子どもたちにとって欠かせない資質・能力です。この力が未来のよりよい社会を創っていく源になると思えます。義務教育である小学校はその基礎を培う学び舎です。

学校や家庭、地域や社会でそれぞれが互いに連携し合いながら「子どもたちが自己決定」できる力を培っていただきたいと思います。今年も地域と共に歩み、保護者・地域の皆様から信頼できる学校を目指し、教職員一丸となって努力を積み重ねて参ります。昨年同様、温かいご支援ご協力をよろしくお願い致します。